保証書 （持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	GWR53sd	S/No.
お買い上げ年月日	年　月　日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年	
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL（　　　）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

故障内容記入欄

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
   （ニ）特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   （ホ）故障の原因が本製品以外にある場合
   （へ）本書のご提示がない場合
   （ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （チ）付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社 ユピテル
〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33

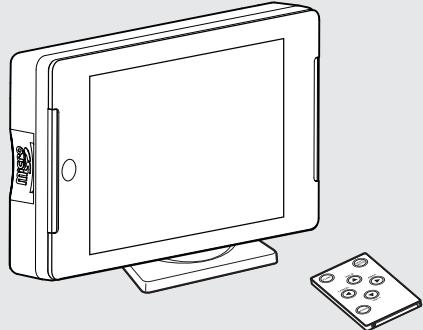
6SS1474-B

1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

GWR53sd

取扱説明書

12V車専用　ダウンロード対応

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

- レーダー波を発射しない取締り（光電管式、追尾方式など）やステルス型取締りの場合、事前に探知できませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

目　次

安全上のご注意

つづく

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

- ⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 🛇 この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。
- ☛ この記号は、関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠警告

- ❗ 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
- ❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- 🛇 サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- 🛇 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 🛇 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。
- 🛇 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。
  - ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
  - ・湿気やほこり、油煙の多い所
  - ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

● 電源コードについて

⚠警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❗ お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- 🛇 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- 🛇 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠警告

- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- 🛇 エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
  万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
  また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠警告

- ❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
- 🛇 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠警告

- ❗ マジックテープ貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。マジックテープの粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⚠注意

- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。
- 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。
- 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
- ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
- 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 本機は精密機械です。静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠注意

- 同梱の乾電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできませんので、お早めに新品電池と交換してください。
- 乾電池を充電したり、分解しないでください。破損や発火、故障の原因となります。
- 乾電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。感電、ショートの原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管してください。
乾電池が液漏れを起こし、本機を故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、本機についた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池と交換してください。
- 使用済みの乾電池を火中に投げ入れないでください。爆発して火災や火傷の原因となります。
- 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新品と使いかけ乾電池を同時に使用したり、ブランドが異なる乾電池を同時に使用しないでください。
- 電池の極性（+、−）を正しく入れて下さい。

⚠注意

- OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ず OBD II アダプターの本体部分を持って抜いてください。
- お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。感電の原因となります。

⚠注意

- 車から離れるときは、電源を切ってください。使用しないときは電源を切ってください。

使用上のご注意

■ 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■ 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(☛28ページ)が、はたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

表示部

- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

取り付け(☛11ページ)に関する注意

- GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- 他の機器のアンテナの近くや、金属など障害物の陰にならない場所に取り付けてください。
- 水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けないでください。
- 本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- 本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、Gセンサー/ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。
  なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。(☛73ページ)

レーダーアラーム(☛26ページ)に関する注意

- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(☛27ページ)
- レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。(☛68ページ)

GPS測位機能(☛28ページ)に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- GPS警報の左右方向識別ボイス(☛33ページ)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線14バンド受信機能(☛36ページ)に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。
  現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
  新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別(☛37ページ)は、はたらきません。

画面表示に関する注意

- 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- アイコン表示(☛17ページ)はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。
- GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- 画面に表示される地図のデータ更新はできません。
- 画面右下の時計表示は、GPS測位中と電源ON直後の測位完了までの間、白色で表示します。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。(☛17ページ)

別売品のOBD II アダプター(☛10ページ)で接続した場合

- 取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。(☛18ページ)
- イグニッションをOFFにしてから本機の電源がOFFするまで、数秒から数十秒かかります。本機の電源をただちにOFFしたい場合は、本機背面の電源スイッチで電源をOFFすることができます。(☛8ページ)
- 車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為　本機のOBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBD II コネクターへ本機のOBD II アダプターを挿し込んでください。

microSDカード(☛13ページ)に関する注意

- 付属のmicroSDカードは、本機専用でご使用ください。
- microSDカードの出し入れは、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

- 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の取り付けによるダッシュボードの変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

各部の名称とはたらき

（つづく）

本機

正面

microSDカード挿入口
microSDカードは、あらかじめ装着されております。

表示部（ワイド3.2インチ液晶ディスプレイ）
実写や動画、文字表示などで警報を行います。

液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

赤外線受光部
リモコンの赤外線信号を受信します。

背面

GPSアンテナ部
GPS衛星からの電波を受信します。

レーダー / 無線アンテナ部
取締りレーダー波と各種無線電波を受信します。

スピーカー

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

電源スイッチ［PWR］
OFF側にスライドさせると、電源がOFFになります。（☛ 15ページ）

DCジャック［DC12V］(12V車専用)
付属のシガープラグコードを接続します。
（☛ 15ページ）

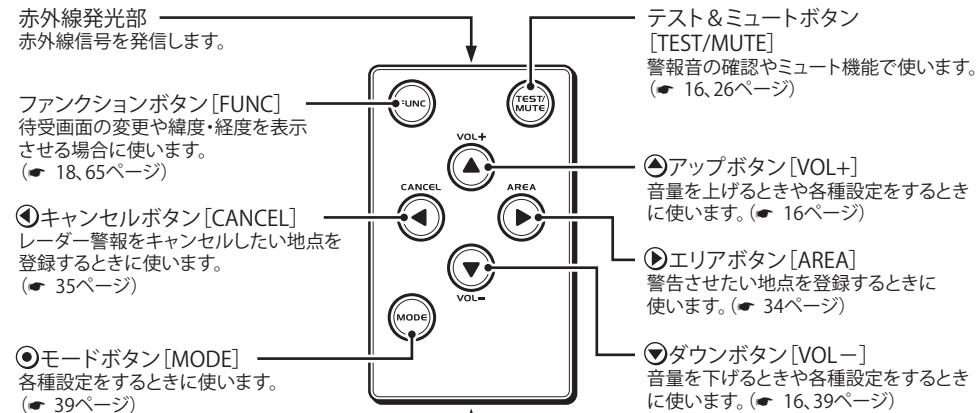
●ターゲット75識別
- GPS52識別
- 無線14バンド識別
- ベストパートナー6識別
- レーダー波3識別

●マップマッチングシステム
●Gセンサー＆ジャイロセンサー
- 高精度な警報が可能
- 加速度、傾斜の待受画面

●クイック測位
- 電源ONから測位までの時間を大幅に短縮

●オービスロケーションガイド
- オービスの手前500mで目標物（交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト）と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

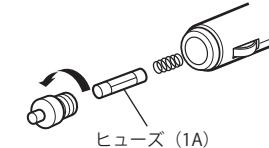
リモコン

赤外線発光部を本機の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

● ダッシュボード取付け用ブラケット

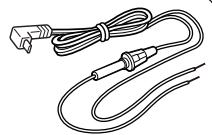
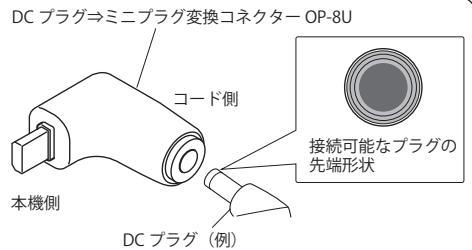
● 粘着マット
● マジックテープ
● 直付け用両面テープ
● microSDカード（1GB）（本機専用）
※本機にあらかじめ装着されております。
● リモコン用リチウム電池（CR2025）
● 取扱説明書・保証書（本書）

●シガープラグコード（L型ミニプラグDC12V出力）

※ 別売品の電源直結コードOP-6UやOBD IIアダプターOBD12-RDをご使用の場合は、使用できません。

※ 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

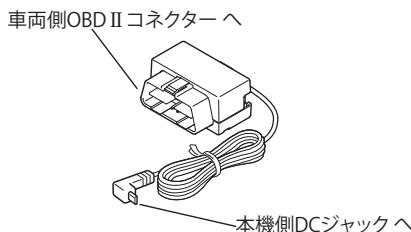
別売品のお知らせ

▌電源直結コード（L型ミニプラグDC12V出力）OP-6U（約3m）
1,575円（税込）
シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。

※ 別売品のOBD II アダプター OBD12-RDをご使用の場合は、使用できません。

▌DCプラグ⇒ミニプラグ 変換コネクター OP-8U
840円（税込）
弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、いままでのシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側のDCプラグをミニプラグに変換するコネクターです。接続するコードのプラグ先端形状が図のタイプ以外のコードは使用できませんので、その場合は同梱のシガープラグコードもしくは別売品の電源直結コード OP-6Uをご使用ください。

▌OBD II アダプター OBD12-RD（約3m）
5,980円（税込）
本機を車両側のOBD II コネクターと接続し、車両に関する情報を表示します。（☛18ページ）

※ 車種により、表示できない情報があります。適応車種は、販売店もしくは弊社ホームページの適応表をご覧ください。

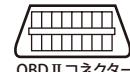
※ OBD II アダプターを使用した場合、シガープラグコード（同梱）および電源直結コードOP-6U（別売品）、DCプラグ⇒ミニプラグ 変換コネクター OP-8U（別売品）は使用できません。

※ OBD II アダプターを使用した場合、イグニッションをOFFにしてから本機の電源がOFFになるまで、数秒から数十秒かかります。本機の電源をただちにOFFにしたい場合は、本機背面の電源スイッチで電源をOFFにすることができます。（☛8ページ）

OBD II とは？

On-board diagnostics II
制御コンピューターに接続し、車両情報を本機の待受画面などに表示することができます。（☛18ページ）

OBD II アダプターの取り付け

車両によってOBD II コネクターの位置が変わりますので、下記の10か所を確認し、OBD II アダプターを挿し込んでください。

①：アクセルペダル脇
②：運転席足元右側（蓋付の場合有り）
③：運転席足元中央
④：運転席足元左側（蓋付の場合有り）
⑤：センターコンソール右脇
⑥：助手席足元右側
⑦：ステアリング右脇パネル裏側（蓋付）
⑧：助手席足元左側
⑨：センターコンソール左脇
⑩：センターコンソール下

OBD II コネクター　※同形状のコネクターに挿し込んでください。

取り付けかた

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。 つづく

本機は、自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットを採用しています。［特許出願中］
また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

※ 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープ（厚さ2mm以上）を使用し、取り付けてください。

※ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。
ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

粘着マットの上手な使いかた

- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
- できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

車両のダッシュボードへの取り付け

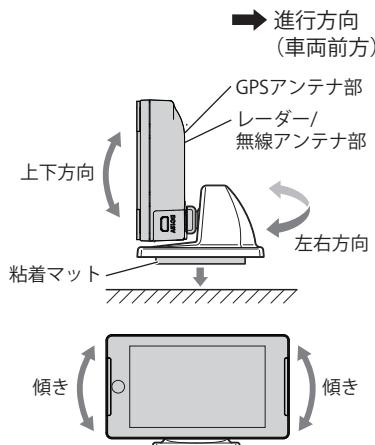
ダッシュボード取付け用ブラケットを使用して取り付ける

1 ダッシュボード取付け用ブラケットに粘着マットを貼り付ける

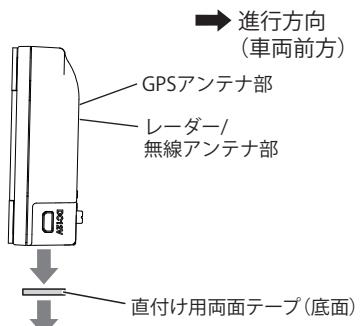
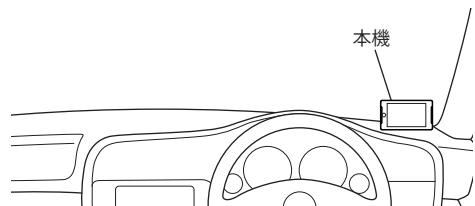
2 本機とダッシュボード取付け用ブラケットを取り付ける

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

車両のダッシュボードへの取り付け

3 本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように角度を調整し、ダッシュボードに取り付ける

- ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- GPSの電波が受信しやすい場所で、レーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように取り付けてください。
- 本機を道路に対して水平に取り付けてください。Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。

両面テープを使用して取り付ける

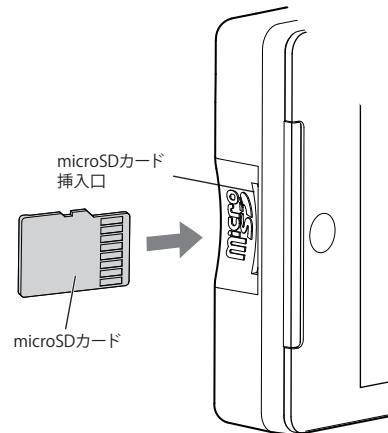
付属の直付け用両面テープで、本機を貼り付ける

下記のイラストを参考に、本機が見やすい場所に貼り付けてください。

- GPSの電波が受信しやすい場所で、レーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように取り付けてください。
- 本機を道路に対して水平に取り付けてください。Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- 両面テープは、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

microSDカードの出し入れ

⚠ 注 意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

GPSデータ更新などでmicroSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

付属のmicroSDカードを装着する際は、右図の向きに合わせ、『カチッ』と音がするまでmicroSDカード挿入口に押し込んでください。

microSDカードの取り扱いについて

付属のmicroSDカードには、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」(☛22ページ)や「3Dロードイメージ」(☛23ページ)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

重要

- 本機にmicroSDカードが挿入されていないと、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」や「3Dロードイメージ」の表示はされません。また、操作音や音声警告もされません。
- microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

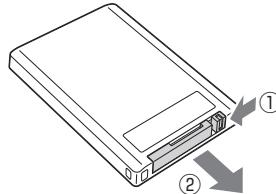
誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社相談窓口(0120-998-036)にご相談ください。

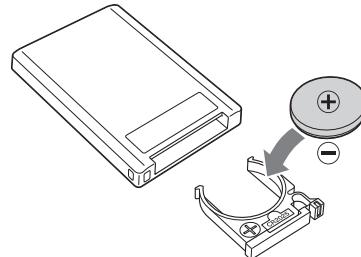
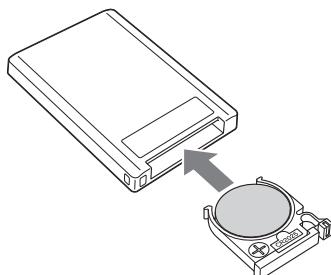
リモコンについて

赤外線発光部を本機の赤外線受光部(☛8ページ)に向けてリモコン操作してください。
付属のリモコン用リチウム電池(CR2025)をリモコンに入れてから操作してください。

電池の入れかた

1 電池ホルダーを取り出す

①の方向に押しながら、②の方向に引き出してください。

2 ＋マークを上に向け、電池を入れる

※電池の向きに注意してください。

3 電池ホルダーをリモコンに差し込む

- 直射日光のあたる場所には、長時間放置しないでください。
- リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- CR2025以外の電池は、使用しないでください。
- 寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

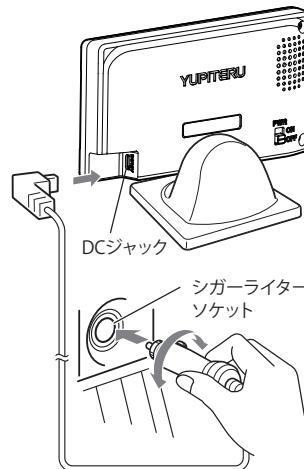
⚠警告

使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

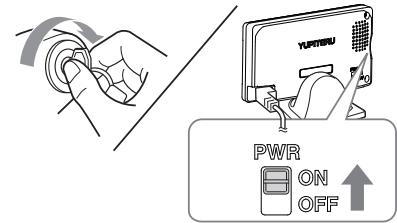
基本的な使いかた

つづく

1 付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。

2 電源を入れる

車のエンジンを始動し、電源スイッチを「ON」にします。

オープニング表示します。

電源が入ると、「GPS測位機能」(☛28ページ)がはたらき、GPSの電波を受信すると、『測位しました』とお知らせします。

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグコードのヒューズが切れた場合は、先端キャップ(☛9ページ)をゆるめて市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。
- 一部の車種においては、シガープラグコードの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード OP-6UまたはOBD IIアダプター OBD12-RD(☛10ページ)を使用してください。

⚠警告

本機のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

3 音量を調節する

アップ/ダウンボタンで調節できます。『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに△を押すと『ブブッ』と鳴ります。

［マナーモード表示］

音量「0」からさらに▽を押すと「マナーモード」になります。解除するときは△を押します。

マナーモードについて

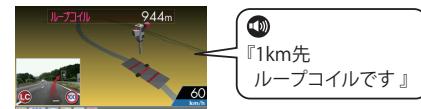
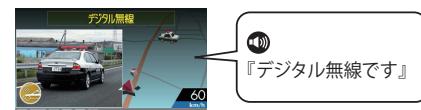
音量調整時、音量「0」の状態からさらにを押すと「マナーモード」になり、約2秒後に、表示が消えます。
GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)も行われません。

- マナーモードは、を押すと解除できます。

4 すべての機能を使ってみる

- オールオンモードを選ぶ

オールオンモードの内容や設定の方法については、「お好みモード選択機能の設定」(☛49ページ)をご覧ください。

GPSターゲットに近づくと…

デジタル無線を受信すると…

ステルス波を受信すると…

テストモード

テスト＆ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音が確認できます。

テスト&ミュートボタンから指を放し、1秒以内に再度押すと、ボイスフレーズの確認ができます。

表示内容

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。 つづく

アイコン表示について

画面下部にレーダー受信感度などのアイコンを表示します。

※図は説明のためにすべてのアイコンを表示した状態です。実際の表示とは異なります。

フレックスディマー

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的に画面表示の明るさを調整します。

	表示名	アイコン	表示の意味
①	OBD II 接続表示	OBD II	本機にOBD IIアダプター(☛10ページ)を使用している場合に表示されます。
②	GPS測位表示		電源をON後、GPS測位するまでの間、点滅表示します。(☛28ページ)
③		GPS G+Gyro	GPS測位後に表示し、走行中に非測位になると[GPS]が消え、[G+Gyro]のみの表示となります。
④	方位磁針表示		GPS測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。(停車状態のままでは針が青色で動きません)
⑤	道路選択表示	R1	一般道のGPSターゲットを警報します。
		R2	高速道のGPSターゲットを警報します。
		R1 R2	一般道、高速道(全て)のGPSターゲットを警報します。
⑥	レーダー受信感度モード表示	C E SE	AAC/不要警報カットやレーダー受信感度の状態を表示します。(☛46ページ)
⑦	お好みモード選択表示	N MI SP A MA	設定しているモードを表示します。(☛49ページ)
⑧	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。(☛36ページ)、(☛38ページ)
⑨	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で表示します。(☛56ページ)
⑩	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。(☛58ページ)
⑪	車上狙い多発エリア表示		車上狙い多発エリア内で表示します。(☛59ページ)
⑫	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(☛26ページ)

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

つづく

	表示名	アイコン	表示の意味
⑬	ログ機能表示	%	ログ機能がONの場合、パーセント表示(0%〜100%)します。(☛66ページ)
⑭	時計表示(※)	9:10	現在の時刻を表示します。また、待受画面を「時計」にしているときは、速度表示になります。

※時計表示は、GPS測位中と電源ON直後の測位完了までの間、白色で表示します。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。

- 表示内容は、製品の改良などで、実際と異なることがあります。

メッセージ表示例

待受画面

警報待受時の画面を時計や速度表示などの画面に設定できます。(☛41ページ)

名称	説明
時計	時刻をデジタル表示します。(☛19ページ)
速度	走行速度を表示します。(☛19ページ)
カレンダー	年月日、曜日を表示します。(☛19ページ)
エコドライブ	エコドライブの評価を採点表示します。(☛19ページ)
加速度	車両に加わる加速度の状態を矢印で表示します。(☛19ページ)
傾斜	車両の傾きをイラストで表示します。(☛19ページ)
タコメーター	エンジン回転数、スロットル開度、エンジン負荷率を表示します。(☛19ページ)
マルチメーター	エンジン回転数、エンジン負荷率、スロットル開度、瞬間燃費を表示します。(☛19ページ)
燃料消費量	今回消費燃料と積算消費燃料を数値とイメージで表示します。(☛20ページ)
エンジン負荷	エンジン負荷を、エンジンイラストの色の変化で表します。 エンジン負荷が大きくなると、エンジンのイラスト色が緑→黄→赤の順に変化します。(☛20ページ)
OBDデータ	OBDデータを一覧表示します。(☛20ページ)
測位情報	衛星位置、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。(☛20ページ)

- 太線で囲われた待受画面は、別売品のOBD II アダプター(☛10ページ)で接続した場合に表示する待受画面です。
- 初期値は、「時計」に設定されています。
- 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。
- 走行速度はGPSの電波に基づき表示しています。別売品のOBD II アダプターで接続した場合は、OBD II 車速検知に基づき表示しています。
  また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ファンクションボタンを押すことで、簡単に待受画面を変更することもできます。

タコメーター
マルチメーター
燃料消費量
エンジン負荷
OBDデータ

左の待受画面は別売品のOBD II アダプター(☛10ページ)で接続した場合に表示します。車種によってOBD II から読み出される内容の違いにより、下記の現象が現れる場合がありますが、不良ではありません。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)
- 待受画面内の一部の項目が表示されない場合があります。
- 「スロットル開度」は、エンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。
- 表示する内容は、純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

※ 待受画面内の表示は、車両のOBD II から読み取った数値を基に表示した目安です。実際の走行状況との誤差が発生する場合があります。

時計

速度

カレンダー

エコドライブ

- 詳しくは、「エコドライブモニターについて」(☛25ページ)をご覧ください。

加速度

常に一定方向の加速度を表示している場合には、水平な場所に移動し、電源を入れ直してください。

傾斜

傾斜
車両の傾斜(姿勢)と進行方向を表示します。
進行方向が「南」の場合、車両イラストは正面を向きます。

走行速度

進行方向
北(0°)に対しての角度を表示します。

電源が入った時点での車両の状態が水平基準となります。
斜面に駐車していた場合には、水平な場所に移動し、電源を入れ直してください。

タコメーター

別売品のOBD II アダプターで接続した場合に表示する画面です。

スロットル開度
燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。

エンジン負荷率
エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。

タコメーター
エンジン回転数をデジタル/アナログで表示します。

マルチメーター

別売品のOBD II アダプターで接続した場合に表示する画面です。

エンジン回転数 1418 rpm
エンジン負荷率 36 %
スロットル開度 15 %
瞬間燃費 12.2 km/l
9 10

- ◆ エンジン回転数 (現在のエンジン回転数です。)
- ◆ エンジン負荷率 (エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。)
- ◆ スロットル開度 (燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。)
- ◆ 瞬間燃費 (現在の燃費です。)

燃料消費量

別売品のOBD IIアダプターで接続した場合に表示する画面です。

- ◆ 積算消費燃料　（ドットは1つあたり50Lで、ドットが全部点灯すると10,000Lです。）
- ◆ 今回消費燃料　（右の器は100ml、タンクは1つあたり5Lで、タンクが全部点灯すると50Lとなります。右の器は本機の電源OFFで0に戻ります。）
- ◆ 燃料流量　（1分間あたりの燃料流量です。）
- ◆ 瞬間燃費　（現在の燃費です。）
- ◆ 平均燃費　（「平均クリア」（☛44ページ）または「オールクリア」（☛44ページ）後の平均燃費です。）

※ お買い上げ直後や「平均クリア」（☛44ページ）または「オールクリア」（☛44ページ）後の平均燃費は実際と大幅に異なることがありますが、100km程度の走行で実際の燃費に近づきます。

エンジン負荷

別売品のOBD IIアダプターで接続した場合に表示する画面です。

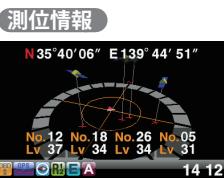
- ◆ エンジン負荷率　（エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。エンジン負荷が大きくなると、エンジンのイラスト色が緑→黄→赤の順に変化します。）
- ◆ スロットル開度　（燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。）
- ◆ 燃料流量　（1分間あたりの燃料流量です。）
- ◆ 瞬間燃費　（現在の燃費です。）20.9
- ◆ 平均燃費　（「平均クリア」（☛44ページ）または「オールクリア」（☛44ページ）後の平均燃費です。）

※ お買い上げ直後や「平均クリア」（☛44ページ）または「オールクリア」（☛44ページ）後の平均燃費は実際と大幅に異なることがありますが、100km程度の走行で実際の燃費に近づきます。

OBDデータ

別売品のOBD IIアダプターで接続した場合に表示する画面です。

- ◆ 車速　（現在の車速です。）
- ◆ エンジン回転数　（現在のエンジン回転数です。）
- ◆ エンジン負荷率　（エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。）
- ◆ スロットル開度　（燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。）
- ◆ 冷却水温度　（ラジエーターで冷却後の冷却水の温度です。）

測位情報

GPS波を受信している衛星の位置、衛星ナンバー、受信レベルおよび車両の緯度・経度を表示します。
※ 衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

3Dポリゴン　4色識別アラーム

ターゲットを注意度により4色に識別し、直感でわかりやすく表示！

赤 警報

ステルスなど「厳重注意」ターゲットを、3Dポリゴンでわかりやすく赤色警報！
ターゲット名はもちろん、ステルスやレーダー波は電波受信をレベル表示。

黄 警告

ネズミ捕りエリアなど「要注意」ターゲットを、3Dポリゴンでわかりやすく黄色警告！
ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示。

青 告知

レッカー無線など「少し注意」ターゲットを、3Dポリゴンでわかりやすく青色告知！

緑 情報

サービスエリアなど安全運転のための情報を、3Dポリゴンでわかりやすく緑色でお知らせ！

表示内容

※アイコン表示は、GPS測位状況や各種設定状況等により異なります。

実写警報「REALPHOTO（リアルフォト）」

注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットに近づくと、実写やイメージ写真でお知らせ！

・表示される実写は、撮影時のものです。現状とは異なる場合があります。

オービス実写例

約1km手前　約500m手前

オービスの約2km（高速道のみ）／1km手前では小さく、500m手前では大きく実写を表示します。
また、オービスの位置を、矢印でわかりやすく表示します。

・写真データが登録されていないオービスポイントでは、オービス写真が表示されません。

取締エリア実写例

約1km手前　エリア内

取締エリアの約1km手前では小さく、エリア内では大きく実写を表示します。

・実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。
・一時停止取締エリアは、「エリア内」のみ表示します。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity. MAPサービス（☛65ページ）をご活用いただけます。

表示方法

ファンクションボタンを長押し（約1秒）する。

必ず、車を止めてから操作してください。

- 表示部にQRコードと緯度（N）・経度（E）を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、ファンクションボタンを押してください。
- 表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

3Dロードイメージレーダースコープについて（特許出願中）

つづく

全国版の3Dロードイメージマップ上でターゲットをお知らせします。オービス、取締・検問エリアは実写とユニークな3Dポリゴンアニメーションで警報します。走行道路にターゲットが存在するか、一目瞭然！

レーダースコープ画面

GPSターゲットを探知すると・・・

これから何を警報するのかをアイコン表示などでお知らせします。

- 制限速度表示は、オービス（ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式オービス）と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、ずれることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPS非測位時、走行速度は表示しません。
  ※ 別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、GPS非測位時でも走行速度は表示されます。
- カーナビゲーションシステムではありませんので、地図上に地名・道路・建物等の名称は表示しません。
- 画面に表示される地図のデータ更新はできません。

3Dロードイメージレーダースコープについて（特許出願中）

アイコン表示について

GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の４色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	LC
	LHシステム	LH
	新Hシステム	H
	レーダー式オービス	RD
黄色	マイエリア	M
	マイキャンセルエリア	CAN
	ネズミ捕りエリア	
	移動オービスエリア	
	追尾式取締エリア	
	一時停止取締エリア	STOP
	交差点取締エリア	
	その他取締エリア	
	シートベルト検問エリア	
	飲酒検問エリア	
	携帯電話検問エリア	
	その他検問エリア	
	交差点監視ポイント	
	信号無視抑止システム	
	高速道 交通警察隊	
	一時停止注意ポイント	

色	ターゲット	アイコン表示
青色	Nシステム	N
	交通監視システム	
	警察署	
	事故多発エリア	
	交番	
	踏切	
緑色	サービスエリア	SA
	パーキングエリア	PA
	ハイウェイオアシス	
	高速道 長/連続トンネル	
	ハイウェイラジオ受信エリア	
	道の駅	
	ビューポイントパーキング	
	駐車場	P
	消防署	
	公衆トイレ	WC

エコドライブモニターについて（特許出願中）

GPSの電波を受信、またはOBD Ⅱ車速検知（別売品のOBD Ⅱアダプターで接続した場合）から得られる速度データをもとに、急加速のポイント、急減速のポイント、アイドリングのポイント、経済速度のポイントの4項目から総合評価します。
エコドライブモニターは、待受画面を「エコドライブ」に設定（☛41ページ）すると表示され、急加速や急減速と判断した場合、黄色や赤色に背景色が変化します。
環境や経済走行の目安としてご使用ください。

経済速度
急加速
加速度計
急減速
総合評価
アイドリング
走行速度

急加速:75pt
経済速度:85pt
急減速:82pt
83 point
60 km/h
アイドリング:90pt
13:45

急加速	急加速と判断するとポイント（pt）を減点します。 （初期値：70pt）
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント（pt）を減点します。（初期値：70pt）
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント（pt）を減点します。（初期値：70pt）
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント（pt）が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント（pt）を減点します。 （初期値：70pt） ※実際の交通規制に従って走行してください。
総合評価	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント（pt）の平均を算出します。

- GPS測位できない場合は、各項目の採点は行いません。（別売品のOBD Ⅱアダプターで接続した場合を除く。）
- 各項目のポイント（pt）表示は、上限100pt、下限0ptです。
  「データ消去」（☛44ページ）を行うとリセットされます。
  （各項目のリセット値は70ptで、項目別にリセットすることはできません。）
- 加速度計は、加速時や減速時に合わせて変化します。
- エコドライブモニターは、GPSの電波を受信して、またはOBD Ⅱ車速検知（別売品のOBD Ⅱアダプターで接続した場合）から得られる速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。

レーダー波受信時の動作について（レーダーアラーム）

本機は、Wアラームと接近テンポアップの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。［レーダーアラーム］

Wアラーム

音（電子音／メロディ／ボイス／クワイアットボイス）と表示のダブルで警報します。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

後方受信

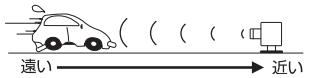
iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト＆ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近（電波の強弱）に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い → 近い
電子音	断続音から連続音に変化します。
表示部	受信レベルが変化します。（受信レベル表示）

• 電子音以外はテンポアップしません。

レーダー波3識別（iDSP）について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術（integrated Digital Signal ProcessingTechnology）により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル（☛53ページ）により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

［ステルス識別］
［インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号］

• iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

1 ステルス波

2 通常レーダー波

3 キャンセル告知

• レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
• 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

• ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
• 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
• ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

<ステルス波を受信したとき>

受信

♪効果音のあとに『ステルスです ステルスです』

『ステルスです』と警報したあとは、通常の警報音（メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音）の警報になります。

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、52種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS52識別]

マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知。全国地図と照合し、ルートのずれを補正します。
※トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたらきます。

Gセンサー＆ジャイロセンサー

Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。

クイック測位

前回電源をOFFにした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置情報をすばやく測位することができます。

OBD II 車速検知 ＊別売品(OBD II アダプター)で接続時

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

<マップマッチングシステム>、<Gセンサー＆ジャイロセンサー>、別売品のOBD II アダプターを接続することによる<OBD II 車速度検知>により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能となり、また<クイック測位>により測位までの時間が大幅に短縮されて、地下駐車場から地上(測位可能範囲)に出た直後などでも、付近のオービスや取締ポイントの警報を行うことができます。

※ 次の場合、クイック測位は機能しません。
- 最後に本機の電源をOFFにしてから直線距離で100km以上離れた地点で本機の電源をONにした場合。
- 最後に本機の電源をOFFにしてから72時間以上経過した場合。
- 最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- GPS波を妨害する電波の影響を受ける場所で本機の電源をONにした場合。

GPS測位機能は、本機の電源をONにするとはたらきます。

測位アナウンスについて

- GPSの電波を受信(測位)すると、『測位しました』とお知らせします。約5分経過しても測位できないときは、『GPSをサーチ中です』とお知らせします。
- 測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『GPSを受信しました』とお知らせします。
- ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。
- 測位アナウンスは、「OFF」に設定することができます。(☛48ページ)

通常、測位するまで、約15秒から約3分ほどかかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、測位に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- 本機には、バッテリー(バックアップ電池)が内蔵されていますが、ご使用開始からの数日間や受信状況が悪い場合、GPS測位に時間がかかる場合があります。

GPS52識別について つづく

内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを52種類に識別してお知らせします。

ターゲットと警報音(ボイス)の例	警報画面例
1 ループコイル 『1km先 高速道ループコイルです』	
2 LHシステム 『500m先 LHシステムです』	
3 新Hシステム 『500m先 Hシステムです』	
4 レーダー式オービス 『2km先 高速道レーダーです』	
5 トンネル内オービス 『トンネル内 高速道LHシステムです』	
6 トンネル内追尾式取締エリア 『トンネル内　高速道 レベル3　追尾式取締エリアです』	
7 トンネル出口直後ネズミ捕りエリア 『トンネル出てすぐ　高速道　レベル3　ネズミ捕りエリアです』	
8 トンネル出口ターゲット 『トンネルの出口付近 高速道レーダーです』	
9 オービス制限速度 『1km先 高速道ループコイルです』 『制限速度は100キロです』	
10 高速道制限速度切替りポイント 『高速道 制限速度は 50キロです』	
11 カメラ位置告知 『500m先 Hシステムです』 『カメラは正面です』	
12 マイエリア 『1km先 マイエリアです』	
13 ネズミ捕りエリア 『1km先　レベル4 レーダー式　ネズミ捕りエリアです』	
14 移動オービスエリア 『レベル5 光電管式 移動オービスエリアです スピード注意』	

つづく

ターゲットと警報音（ボイス）の例	警報画面例
15 追尾式取締エリア 🔊 『レベル3　パトカー 追尾式取締エリアです スピード注意』	
16 一時停止取締エリア 🔊 『すぐ先　レベル2 一時停止取締エリアです』	
17 交差点取締エリア 🔊 『レベル1 交差点取締エリアです』	
18 その他取締エリア 🔊 『レベル1 取締エリアです スピード注意』	
19 シートベルト検問エリア 🔊 『レベル5 シートベルト検問エリア です』	
20 飲酒検問エリア 🔊 『レベル4 飲酒検問エリアです』	
21 携帯電話検問エリア 🔊 『レベル3 携帯検問エリアです』	

ターゲットと警報音（ボイス）の例	警報画面例
22 その他検問エリア 🔊 『レベル2 検問エリアです』	
23 取締・検問圏外識別 🔊 『取締エリア外です』 『検問エリア外です』	
24 交差点監視ポイント 🔊 『すぐ先 交差点監視ポイントです』	
25 信号無視抑止システム 🔊 『すぐ先 信号無視抑止 システムです』	
26 高速道 交通警察隊 🔊 『500m先　高速道 交通警察隊待機所です』	
27 駐禁最重点エリア 🔊 『この付近 駐禁最重点 エリアです』	
28 駐禁重点エリア 🔊 『この付近 駐禁重点エリア です』	

ターゲットと警報音（ボイス）の例	警報画面例
29 一時停止注意ポイント ・サイレント警報※ （ボイスのお知らせは ありません。）	
30 Nシステム 🔊 『すぐ先 Nシステムです』	
31 交通監視システム 🔊 『すぐ先 交通監視システムです』	
32 警察署 🔊 『500m先　警察署です』	
33 交番 ・サイレント警報※ （ボイスのお知らせは ありません。）	
34 事故多発エリア 🔊 『すぐ先 事故多発エリアです』	
35 車上狙い多発エリア 🔊 『この付近　車上狙い多発エリアです』	

ターゲットと警報音（ボイス）の例	警報画面例
36 高速道 急/連続カーブ 🔊 『この先　高速道 急（連続）カーブです』	
37 高速道 分岐/合流ポイント 🔊 『この先　高速道 分岐（合流）ポイントです』	
38 踏切 ・サイレント警報※ （ボイスのお知らせは ありません。）	
39 ETCレーン事前案内 🔊 『ETCレーンは 右側（左側/ 両サイド/中央）です』	
40 サービスエリア 🔊 『1km先　高速道 サービスエリアです』	
41 パーキングエリア 🔊 『1km先　高速道 パーキングエリアです』	
42 ハイウェイオアシス 🔊 『1km先　高速道 ハイウェイオアシスです』	

ターゲットと警報音(ボイス)の例	警報画面例
43 スマートIC 🔊 『1km先　高速道 サービスエリアです　スマートインターチェンジです』	
44 SA/PA内ガスステーション 🔊 『1km先高速道パーキングエリアです ガスステーションがあります』	
45 高速道 長/連続トンネル 🔊 『500m先 高速道　長い(連続)トンネルです』	
46 ハイウェイラジオ受信エリア 🔊 『高速道　ハイウェイラジオ 受信エリアです』	
47 県境告知 🔊 『この先　○○県です』	
48 道の駅 🔊 『500m先　道の駅です』	
49 ビューポイントパーキング 🔊 『500m先　ビューポイントパーキングです』	

ターゲットと警報音(ボイス)	警報画面例
50 駐禁エリア付近駐車場 ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。)	
51 消防署 ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。)	
52 公衆トイレ ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。)	

• 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
• 警報音(ボイス)は、♪効果音のあとにお知らせします。
※注意度の低いターゲットを、アイコンのみで表示し、不要な警報音(ボイス)で運転の妨げをせず、重要な警告を逃しません。

◆トンネル内の警報・警告

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。
さらに別売品のOBD II アダプターで接続した場合は、OBD II 車速検知により高精度な警報を行います。

●トンネル内オービス3段階警報

トンネル内のオービスから約2km(高速道のみ)/1km/500m手前の最大3段階でお知らせします。

●トンネル内追尾式取締エリア警告

トンネル内の追尾式取締エリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口直後ネズミ捕りエリア警告

トンネル出口直後のネズミ捕りエリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの出口付近に設置されているターゲット(オービスなど)に対し、トンネル入口の手前約500mと直前の2カ所(※)で警報します。

※ GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーおよびOBD II 車速検知(別売品のOBD II アダプターで接続した場合)の動作状況、または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

• 『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

※以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

• トンネル内オービス
• トンネル出口ターゲット
• オービス制限速度
• 高速道制限速度切替りポイント
• カメラ位置告知
• トンネル内追尾式取締エリア
• トンネル出口直後ネズミ捕りエリア
• 一時停止取締エリア
• 取締・検問圏外識別
• 駐禁最重点エリア
• 駐禁重点エリア
• 一時停止注意ポイント
• 交番
• 車上狙い多発エリア
• 高速道 分岐/合流ポイント
• 踏切
• ETCレーン事前案内
• スマートインターチェンジ
• SA/PA内ガスステーション
• ハイウェイラジオ受信エリア
• 県境告知
• 駐車場
• 消防署
• 公衆トイレ

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

警告させたい地点を登録する（マイエリア登録）

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は、マイエリア、インテリジェントキャンセル(☛53ページ)、マイキャンセルエリア(☛35ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

① **登録したい地点で ▶ エリアボタンを押します。**

② **再度、▶エリアボタンを押します。**

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km／500m／通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km（500m）のとき…〉
『右（左）方向 1km（500m）先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉
『通過します』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知（『1km先』、『500m先』）を『この先』や『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

登録したマイエリアを解除する

① **マイエリア登録されているエリアで、▶エリアボタンを押します。**

② **再度、▶エリアボタンを押します。**

『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」(☛44ページ)を参照ください。

レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する（マイキャンセルエリア登録）

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(☛34ページ)、インテリジェントキャンセル(☛53ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS52識別(☛29ページ)や無線14バンド識別(☛36ページ)・ベストパートナー6識別(☛37ページ)の警報はキャンセルできません。

マイキャンセルエリアを登録する

① **登録したい地点で ◀ キャンセルボタンを押します。**

② **再度、◀キャンセルボタンを押します。**

『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

- Ｉキャンセルサウンド(☛53ページ)の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

登録したマイキャンセルエリアを解除する

① **マイキャンセルエリア登録されているエリアで、◀キャンセルボタンを押します。**

② **再度、◀キャンセルボタンを押します。**

『マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除（消去）したい場合は、「データ消去」(☛44ページ)を参照ください。

17バンド受信機能について

つづく

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

1. 無線14バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線14バンド受信機能を搭載しました。
これらの無線を受信すると、警報画面とボイスでお知らせします。[**無線14バンド識別**]

＜各種無線を受信すると…＞

受信バンドと警報音（ボイス）	警報画面
① カーロケ無線 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ近接受信です』	
② 取締無線 『取締無線です』	
③ デジタル無線 『デジタル無線です』	
④ 取締特小無線 『特小無線です』	
⑤ ヘリテレ無線 『ヘリテレ無線です』	
⑥ 署活系無線 『署活系無線です』	
⑦ レッカー無線 『レッカー無線です』	
⑧ 消防無線 『消防無線です』	
⑨ 消防ヘリテレ無線 『消防ヘリテレ無線です』	
⑩ 新救急無線 『救急無線です』	
⑪ 高速道路無線 『高速道路無線です』	
⑫ 警備無線 『警備無線です』	
⑬ 警察電話 『警察電話です』	
⑭ 警察活動無線 『警察活動無線です』	

- 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 警報音（ボイス）は、♪効果音のあとにお知らせします。
- レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。
また、カーロケ無線（407.7MHz帯の電波）を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

- カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたらきます。

[検問注意：特許 第4119855号]
[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262号]

●「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定（☛63ページ）をすべて「ON」にする

- いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたらきません。

種々の無線を受信すると・・・

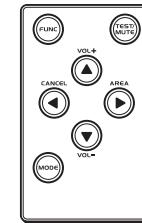
識別項目	注意内容	警報画面	警報音（ボイス）
① 並走追尾注意	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき		『スピード注意』（2回くり返し）
② すれ違い注意	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき		『遠ざかりました』（2回くり返し）
③ 取締注意	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき		『取締注意』（2回くり返し）

識別項目	注意内容	警報画面	警報音（ボイス）
④ 検問注意	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき	検問シグナル無線 60 km/h 9:54	『検問注意』（2回くり返し）
⑤ カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき	カーロケ遠方 60 km/h 9:54	『カーロケ遠方受信です』
		カーロケ近接 60 km/h 9:54	『カーロケ近接受信です』
⑥ カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき	60 km/h 9:54	・ボイスのお知らせはありません。
		カーロケ圏外 60 km/h 9:54	『カーロケ 圏外です』

- ③と④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度モードがスーパーエクストラになります。（ただし、受信感度モードが「AAC/ASS」設定時 (☛46ページ)）
- 警報音（ボイス）は、♪効果音のあとにお知らせします。
- 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。 現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。 新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別機能ははたらきません。

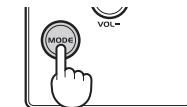
各種設定のしかた

各種設定は、表示部を見ながら、リモコンのボタン操作で行います。

・前の手順に戻る場合は、◀キャンセルボタンを押します。

例 >>

待受画面を「速度」に設定変更するには・・・

1 「設定モード」にする

モードボタンを押します。

●選択項目が反転表示されます。

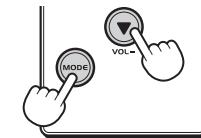
2 「システム設定」の項目を決定する

モードボタンを押します。

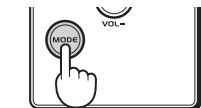
3 「待受画面」の項目を決定する

モードボタンを押します。

4 「速度」を選択し、決定する

▼ダウンボタンを押して「速度」を選択し、モードボタンを押します。

●変更した項目に「●」が移ります。

5 「設定モード」を終了する

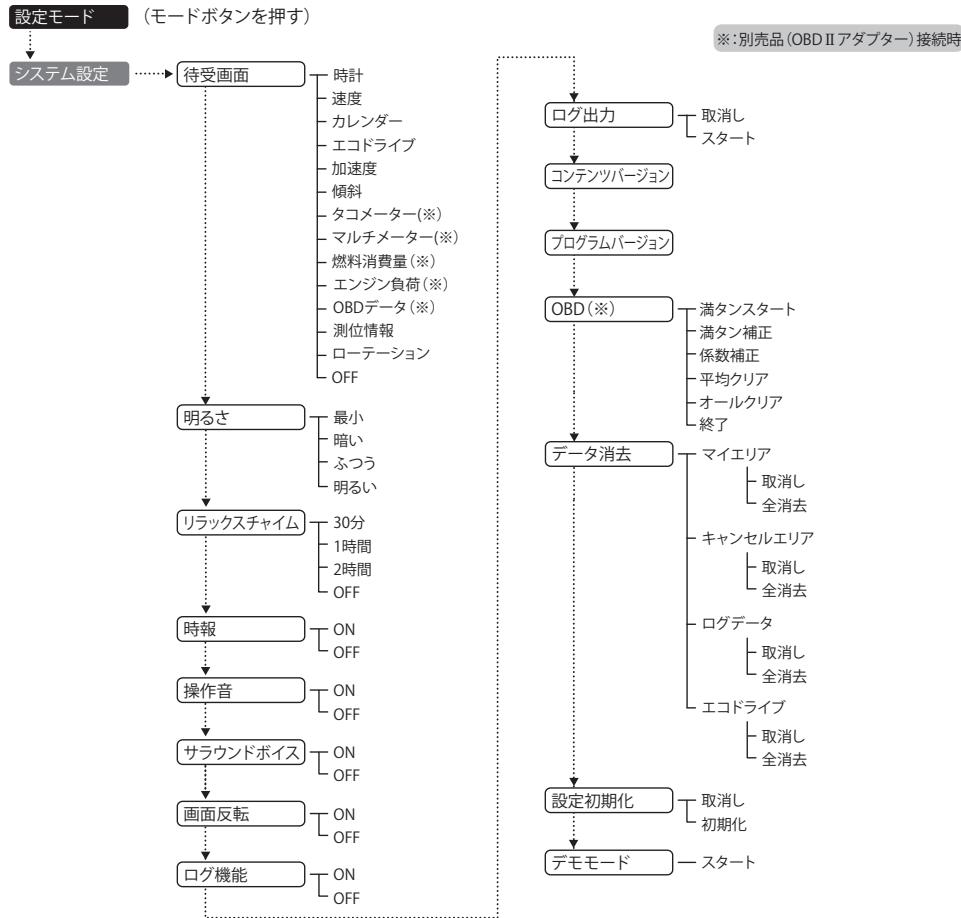
モードボタンを長押し（約1秒）します。

設定終了後、30秒以内に再度「設定モード」にすると、前回設定した項目が最初に表示されます。

システム設定

つづく

設定メニューにそって、システム設定の各種設定変更ができます。

• 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛39ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定項目の詳細説明

〈待受画面〉

警報待受時の画面表示を「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「加速度」「傾斜」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択することができます。
(別売品のOBD II アダプターで接続した場合は、「タコメーター」「マルチメーター」「燃料消費量」「エンジン負荷」「OBDデータ」からも選択できます。)
各画面の詳細については、「待受画面」(☛18ページ)を参照してください。

• 日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
• 走行速度の表示は、GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
• 測位情報は衛星数、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
• ローテーションは、「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「加速度」「傾斜」「測位情報」が1分間隔で切替ります。(別売品のOBD II アダプターで接続した場合は、「タコメーター」「マルチメーター」「燃料消費量」「エンジン負荷」「OBDデータ」もローテーションに加わります。)
•「OFF」に設定すると待受画面は表示されません。
•「OFF」に設定している状態でも、GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)は行われます。
• 表示切替距離(☛46ページ)の設定で、「レーダー画面固定」を選択すると、常にレーダースコープ画面を表示します。
• 初期値は「時計」に設定されています。
• ファンクションボタンを押すことで、簡単に待受画面を変更することも可能です。

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切替えることができます。

• 初期値は「ふつう」に設定されています。

〈リラックスチャイム〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。
電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています　休憩しませんか？』とお知らせします。

•「30分」「1時間」「2時間」「OFF」の中から選択できます。
• 初期値は「2時間」に設定されています。

〈時報〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。
「午前(午後)〇〇時です」

• 初期値は「ON」に設定されています。

〈操作音〉

「ON」に設定すると、ボタン操作時の確認音が出ます。
• 初期値は「ON」に設定されています。

使いかた/設定編

つづく

〈サラウンドボイス〉

「ON」に設定すると、臨場感のあるボイスでお知らせします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

〈画面反転〉

「ON」に設定すると、画面表示の上下が反転します。

- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約12時間分の走行データを記録することができます。(☛66ページ)

- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈ログ出力〉

ログ機能で記録した走行データを付属(レーダー探知機に装着済み)のmicroSDカードにコピーします。

- スタートを選択するとコピーを開始します。

〈コンテンツバージョン〉

登録されているGPSデータ情報を表示します。

〈プログラムバージョン〉

本機のシステムバージョンを表示します。

〈OBD〉

本機で燃費を計算する際に必要となる数値の設定および入力を行うことにより、平均燃費数値の精度を高めることができます。

満タンスタート

<満タンスタート手順>

1. 燃料を満タンまで給油してください。

※給油完了時、給油口内で燃料油面の位置を確認してください。燃料タンクの構造上、給油後に油面が低下する場合がありますので、低下が止まった位置を確認してください。(油面の位置が不明の場合、満タン補正を行う際に補正精度に影響する場合があります。)

2. 「満タンスタート」を選択してください。画面が変わります。
3. 「OK」を選択してください。画面が元に戻ります。
4. 車両のトリップメーターをリセット(ゼロに戻す)し、次回給油までリセットしないでください。
5. 「満タン補正」が選択できるようになるまで無給油で200~300km程度走行してください。(走行距離が長いほど精度が高くなります。継続してこの画面を表示させておく必要はありません。)
6. 適当な間隔でこの画面を確認して「満タン補正」が選択できるようになったら、満タン補正を行います。

満タン補正

「距離」、「燃料」を入力してください。

<満タン補正手順>

1. 前回の給油で確認した位置まで給油してください。(給油後の油面低下にご注意ください。)
2. 「満タン補正」を選択します。画面が変わります。
3. リモコンのMODEボタンと上下左右ボタンを併用して、「距離」と「燃料」の数値を入力します。「距離」は車両のトリップメーターに表示されている数値を、また「燃料」は給油した燃料の量を入力してください。
4. 「補正前燃費」には今回給油前の平均燃費が、また「補正後燃費」には今回の給油による補正後の平均燃費が表示されます。
5. 「OK」を選択すると補正が完了し、画面が元に戻ります。

係数補正

「距離係数」、「燃料係数」を入力してください。

係数補正は、燃費計算を行う上での係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができたり、またすでにこれらの係数が手元にある場合は直接入力を行うことによって、車両の燃費計算のベースとして設定することができます。

<係数補正手順>

1. 「係数補正」を選択します。画面が変わります。
2. リモコンのMODEボタンと上下左右ボタンを併用して、「距離係数」と「燃料係数」の数値を入力します。
3. 「OK」を選択すると補正が完了し、画面が元に戻ります。

※「オールクリア」を行う前には、表示される係数をメモしておくことをおすすめします。

平均クリア

システム設定

平均クリアは、画面内の「平均燃費」および「今回消費燃料」をクリアすることができます。(「今回消費燃料」は、電源のOFFでもクリアすることができます。)
「満タンスタート」および「満タン補正」の直後に行うと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正の内容はクリアされません。)

オールクリアは、OBD Ⅱに関連する本機内の数値が初期値に戻ります。(車両側OBD Ⅱに影響はありません。)
オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。
※オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

終了は、OBD設定画面を終了させ、システム設定画面に戻ります。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア(インテリジェントキャンセル・マイキャンセルエリア)」「ログデータ」「エコドライブ」のデータを消去することができます。

- 消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、ログデータ、エコドライブ)を選び、「全消去」を選択・決定するとデータが消去されます。
- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- いったん初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈デモモード〉

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中にリモコン操作するとデモモードは終了します。
- 本機がOBD Ⅱアダプター(☛10ページ)で接続されていない場合でも、OBD Ⅱ関連の待受画面が表示されます。

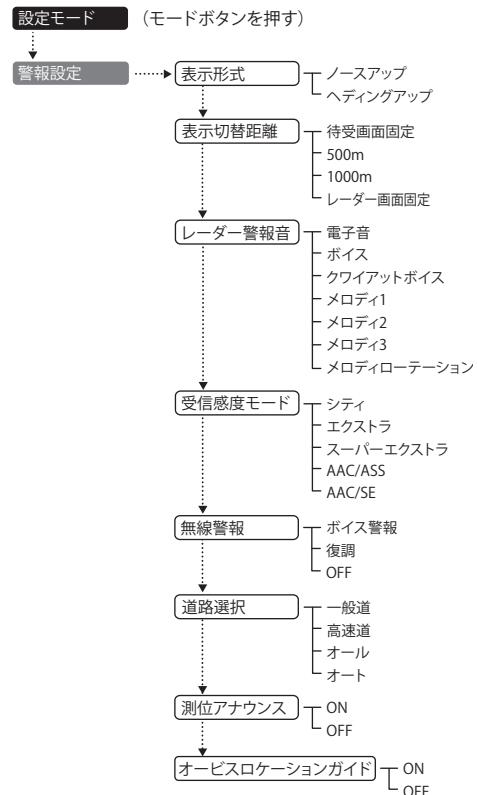
警報設定

つづく

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛39ページ)をご覧ください。

設定メニュー

つづく

設定項目の詳細説明

〈表示形式〉

レーダースコープ画面の向きをノースアップ（常に北が上になるような表示）とヘディングアップ（常に車の進行方向が上になるような表示）に切替えることができます。

- 初期値は「ヘディングアップ」に設定されています。

〈表示切替距離〉

待受画面からレーダースコープ画面に切替る距離を選択できます。

- 待受画面固定を選択した場合、待受画面のままレーダースコープ画面に切替りません。
- レーダー画面固定を選択した場合は、常にレーダースコープ画面を表示します。
- 初期値は「1000m」に設定されています。

〈警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

- 初期値は「メロディ1」に設定されています。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ1	オリジナルメロディ　パターン1（メロディ1）で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ　パターン2（メロディ2）で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ　パターン3（メロディ3）で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム（メロディ1→メロディ2→メロディ3の順）で警報します。

〈受信感度モード〉

レーダー受信感度を選択できます。

- 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
- 初期値は「AAC/ASS」に設定されています。

選択項目	アイコン表示
シティ エクストラ スーパーエクストラ	C E SE
AAC/ASS	⊖（時速30km未満） C E SE（車速により変化）
AAC/SE	⊖（時速30km未満） SE（時速30km以上）

「シティ」・「エクストラ」・「スーパーエクストラ」

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラ	高速道路
↑	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS測位機能（本機が別売品のOBD IIアダプター（☛10ページ）で接続されている場合は、OBD II車速検知）により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたらきます。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

［AAC/ASSの動作］

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態
0km～29km		⊖	警報しない
30km～39km	シティ	C	警報する
40km～79km	エクストラ	E	
80km～	スーパーエクストラ	SE	

- 電源ON後、GPS測位するまでの間は、スーパーエクストラになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。（本機が別売品のOBD IIアダプター（☛10ページ）で接続されている場合を除く。）

「AAC/SE」

走行速度が時速30km未満は、レーダー波の受信警報をカット（AAC）し、時速30km以上は、受信感度がスーパーエクストラに固定されます。

［AAC/SEの動作］

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態
0km～29km		⊖	警報しない
30km～	スーパーエクストラ	SE	警報する

- GPS測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。（本機が別売品のOBD IIアダプター（☛10ページ）で接続されている場合を除く。）

〈無線警報〉

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「OFF」の中から選択することができます。

- 「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。
- 初期値は「ボイス警報」に設定されています。

「ボイス警報」設定のとき

- 各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- 30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

- 各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。
- 30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- 各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- 各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- カーロケ無線(☛36ページ)とベストパートナー6識別(☛37ページ)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

〈道路選択〉

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート」から選択することができます。

- GPS52識別警報のハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
- 初期値は「オート」に設定されています。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	走行道路(一般道か高速道)を自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 • 一般道と高速道が並行していたり交差している場合などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 • GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 • 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 • 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

〈測位アナウンス〉

「測位アナウンス」のON/OFFができます。
ビルの谷間などGPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。

- 「OFF」に設定すると、測位アナウンスを停止することができます。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈オービスロケーションガイド〉

「オービスロケーションガイド」のON/OFFができます。
オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

- 初期値は「ON」に設定されています。

お好みモード選択機能の設定

つづく

設定メニューにそって、お好みモード選択機能の設定変更ができます。

- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛39ページ)をご覧ください。

お好みモード選択機能

レーダー、GPS、無線の各種機能を個別に設定した5つのモード(「ノーマルモード」、「ミニマムモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」、「マニュアルモード」)に分類しています。

- 初期値は、「ノーマルモード」に設定されています。
- 各モードの設定値は、「各モードの初期値一覧」(☛50ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定項目の詳細説明

〈ノーマルモード：N〉

バランスを重視した内容に設定されています。

- 各項目の設定内容は変更できません。

〈ミニマムモード：MI〉

レーダー、無線、GPSすべてにおいて、最低限の項目だけONに設定されています。

- 各項目の設定内容は変更できません。

〈スペシャルモード：SP〉

取締りに関係する項目を重視した内容に設定されています。

- 各項目の設定内容は変更できません。

〈オールオンモード：A〉

各種機能がすべてＯＮに設定されています。

- 各項目の設定内容は変更できません。

〈マニュアルモード：MA〉

各項目は、お好みに応じて設定を変更できます。(☛52ページ)~(☛64ページ)

お好みモード選択機能の設定

各モードの初期値一覧

●レーダーの設定

	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
	以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
Ｉキャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	53
Ｉキャンセルサウンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	53
反対キャンセル	ON	ON	OFF	ON	ON	53

●GPSの設定

	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
	以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
オービス	ON	ON	ON	ON	ON	55
直前速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	55
通過告知	ON	ON	ON	ON	ON	55
制限速度告知	ON	ON	ON	ON	ON	55
カメラ位置告知	ON	ON	ON	ON	ON	56
制限速度切替告知	ON	ON	ON	ON	ON	56
速度超過告知	ON	ON	ON	ON	ON	56
取締エリア	レベル3以上	OFF	全て	全て	レベル3以上	56
検問エリア	レベル3以上	OFF	全て	全て	レベル3以上	57
交差点監視ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	58
信号無視抑止システム	OFF	OFF	ON	ON	OFF	58
高速交通警察隊	ON	OFF	ON	ON	ON	58
駐禁監視エリア	ON	OFF	ON	ON	ON	58
一時停止注意ポイント	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	58
Nシステム	OFF	OFF	ON	ON	ON	58
交通監視システム	OFF	OFF	ON	ON	ON	59
警察署	OFF	OFF	ON	ON	OFF	59
交番	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	59
事故多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	59
車上狙い多発エリア	OFF	OFF	ON	ON	OFF	59
急カーブ	OFF	OFF	ON	ON	OFF	59
分岐合流ポイント	OFF	OFF	ON	ON	OFF	59
踏切	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
ETCレーン	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
サービスエリア	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
パーキングエリア	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
ハイウェイオアシス	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
スマートIC	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
ガソリンスタンド	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	60
トンネル	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61
ハイウェイラジオ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61

	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
	以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
県境	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61
道の駅	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61
ビューポイントパーキング	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61
駐車場	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61
消防署	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61
公衆トイレ	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	61

●無線の設定

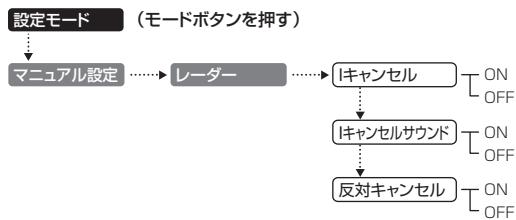
	ノーマルモード	ミニマムモード	スペシャルモード	オールオンモード	マニュアルモード	詳細説明ページ
	以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を変更できます。	
受信感度	LO	LO	HI	HI	LO	63
カーロケ無線	ON	ON	ON	ON	ON	63
取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	63
デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	63
取締特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	63
署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	63
警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	63
警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	64
レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	64
ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64
警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	64

使いかた／設定編

レーダーの設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。

- 「お好みモード選択機能の設定」(☛49ページ)でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。
- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛39ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定項目の詳細説明

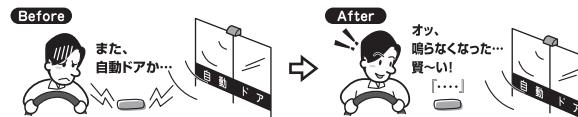
〈アイ(I)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル)［特許 第3902553号、第4163158号］

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。
登録数は、インテリジェントキャンセル、マイエリア(☛34ページ)、マイキャンセルエリア(☛35ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。
1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

• キャンセル中の画面

レーダー波の受信レベル

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- 「Ｉキャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは、「Ｉキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(☛44ページ)をご覧ください。

〈アイ(Ｉ)キャンセルサウンド〉(インテリジェントキャンセルサウンド)

インテリジェントキャンセル中、マイキャンセル中に、『キャンセル中です』と10秒に1回音声を発する機能です。

〈反対キャンセル(反対車線オービスキャンセル機能)〉

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

反対車線オービスキャンセル中の画面

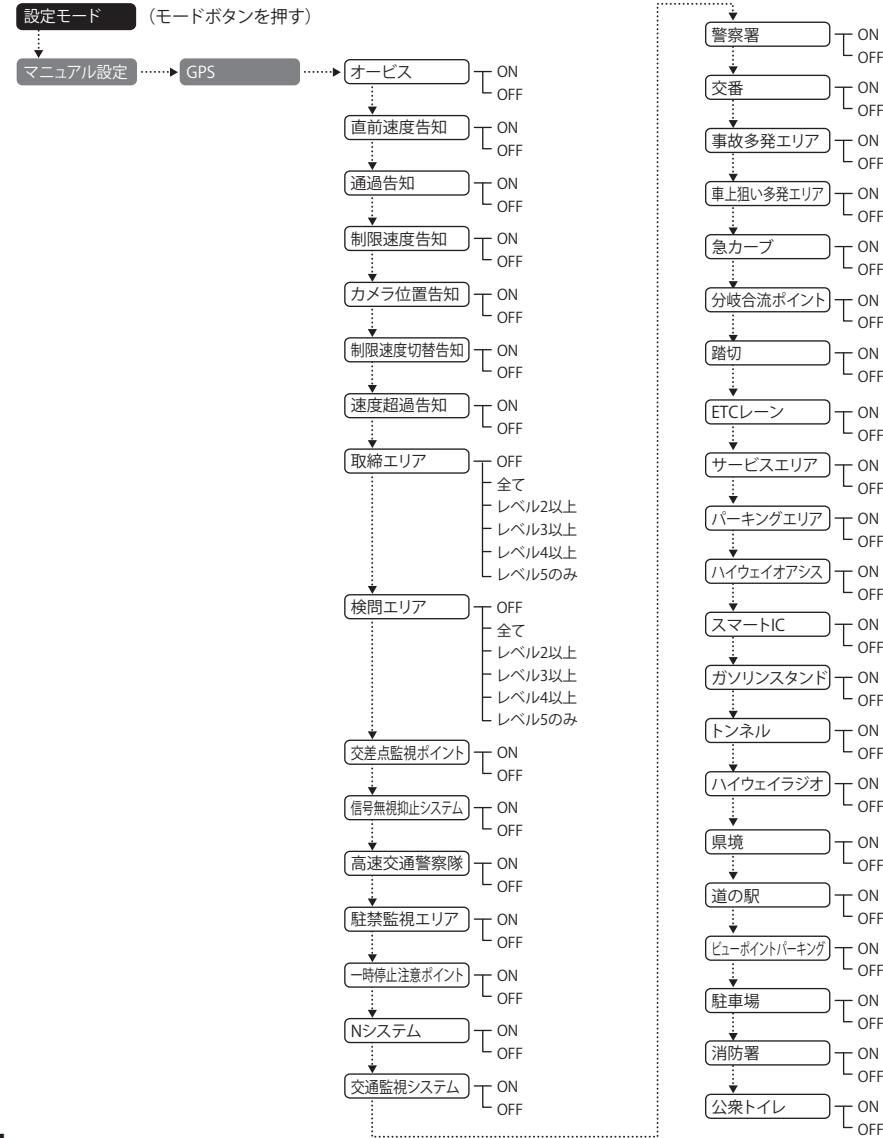
使いかた／設定編

GPSの設定

つづく

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。

- 「お好みモード選択機能の設定」(☛49ページ)でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。
- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛39ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定項目の詳細説明

〈オービス〉

オービス5段階警報のON/OFFができます。

オービス5段階警報とは？

オービス(ループコイル／LHシステム／新Hシステム／レーダー式)に対する警報を手前約2km(高速道のみ)／1km／500m／通過直前(直前速度告知)／通過中(通過告知)の最大5段階で行います。

●警報音(ボイス)によるお知らせ(例)

- **手前約2km** →『2km先 高速道 LHシステムです』
- **手前約1km(500m)** →『1km(500m)先 高速道 LHシステムです』
- **通過直前(直前速度告知)** →『走行速度は60キロ以下です』
- **通過中(通過告知)** →『通過します』

- 約2km手前の警報(高速道のみ)は、走行路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。
- GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーの動作状況により、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。
- 通過直前(直前速度告知)は、車の走行速度をお知らせするもので、道路の制限速度告知ではありません。
- トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスの警報は、オービス5段階警報とは異なります。(☛33ページ)

〈直前速度告知〉

「オービス直前速度告知」のON/OFFができます。
オービス直前の車の速度をボイスで告知します。『走行速度は○○です』

- 速度は『120キロ以上／120キロ以下／110キロ以下／100キロ以下／90キロ以下／80キロ以下／70キロ以下／60キロ以下／50キロ以下／40キロ以下／30キロ以下』のいずれかで告知します。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。
- トンネル出口ターゲットとトンネル内オービス(☛33ページ)は、直前速度告知を行いません。

〈通過告知〉

「オービス通過告知」のON/OFFができます。
オービスの撮影ポイントやマイエリアの通過をお知らせします。『…通過します』

- GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーの動作状況により、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。
- トンネル出口ターゲットとトンネル内オービス(☛33ページ)は、通過告知を行いません。

〈制限速度告知〉

約1km手前のオービス警報や取締エリア内の警報に続けて、道路の制限速度をお知らせします。
『…制限速度は○○です』『スピード注意』

- 制限速度は『30キロ／40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ』のいずれかで告知します。
- 『スピード注意』のお知らせは、速度超過告知を「ON」に設定し、制限速度を超えて走行時のみ告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。
- トンネル出口ターゲット(☛33ページ)や制限速度が登録されていない取締エリアは、制限速度告知を行いません。

〈カメラ位置告知〉

約500m手前のオービス警報に続いて、オービスのカメラ位置をお知らせします。
『500m先・・』『カメラは〇〇です』

- カメラ位置は「右側」「左側」「正面」のいずれかで告知します。
- トンネル出口ターゲット(☛33ページ)は、カメラ位置告知を行いません。

〈制限速度切替告知〉

「高速道制限速度切替りポイント告知」のON/OFFができます。
高速道路における制限速度を高速道への進入ポイントやパーキングエリアなどの出口ポイント、高速道切替りポイントでお知らせします。
『高速道制限速度は〇〇です』

- 制限速度は『40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ』のいずれかで告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。

〈速度超過告知〉

制限速度告知、直前速度の告知、制限速度切替告知時に制限速度を超えて走行している場合、各告知に続けて『スピード注意』とお知らせします。

- 制限速度を10km/h以上超過している場合は『スピード注意』、制限速度を30km/h以上超過している場合は『速度超過です　スピード注意』とお知らせします。
- 普通自動車の制限速度に対しての速度超過をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承願います。状況に応じた規制速度で走行してください。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

〈取締エリア〉

「取締エリア警告」の設定ができます。
過去に取締りが行われていた場所が、6種類(ネズミ捕りエリア、移動オービスエリア、追尾式取締エリア、一時停止取締エリア、交差点取締エリア、その他取締エリア)に分けて登録されています。
取締りの頻度別(レベル2以上、レベル3以上、レベル4以上、レベル5のみ)に設定が可能です。
取締エリアの約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの最大3段階でお知らせします。

- トンネル内追尾式取締エリアとトンネル出口直後ネズミ捕りエリアは、「エリア圏外」のお知らせを行いません。(☛33ページ)
- 一時停止取締エリアの警告は、「エリア内に入ったとき」のみお知らせします。

●ボイスによるお知らせ (例)

- **約1km手前** →『1km先　レベル5　取締エリアです』
- **エリア内に入ったとき** →『レベル5　取締エリアです　スピード注意　取締エリアです　スピード注意』
- **エリア圏外になったとき** →『取締エリア外です』

●設定項目

OFF	警告を行いません。
全て	レベル1以上(全て)の警告を行います。
レベル2以上	レベル2～5の警告を行います。
レベル3以上	レベル3～5の警告を行います。
レベル4以上	レベル4～5の警告を行います。
レベル5のみ	レベル5のみ警告を行います。

●取締り頻度 (レベル)

レベル1	取締りを行う頻度が少ない
レベル2	
レベル3	
レベル4	
レベル5	取締りを行う頻度が多い

- 取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、頻度などは目安としてお考えください。

〈検問エリア〉

「検問エリア警告」の設定ができます。
過去に検問が行われていた場所が、4種類(シートベルト検問エリア、飲酒検問エリア、携帯電話検問エリア、その他の検問エリア)に分けて登録されています。
検問の頻度別(レベル2以上、レベル3以上、レベル4以上、レベル5のみ)に設定可能です。
検問エリアの約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

●ボイスによるお知らせ (例)

- **約1km手前** →『1km先　レベル5　検問エリアです』
- **エリア内に入ったとき** →『レベル5　検問エリアです　検問エリアです』
- **エリア圏外になったとき** →『検問エリア外です』

●設定項目

OFF	警告を行いません。
全て	レベル1以上(全て)の警告を行います。
レベル2以上	レベル2～5の警告を行います。
レベル3以上	レベル3～5の警告を行います。
レベル4以上	レベル4～5の警告を行います。
レベル5のみ	レベル5のみ警告を行います。

●検問頻度 (レベル)

レベル1	検問を行う頻度が少ない
レベル2	
レベル3	
レベル4	
レベル5	検問を行う頻度が多い

- 検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、頻度などは目安としてお考えください。

つづく

〈交差点監視ポイント〉

「交差点監視ポイント警告」のON/OFFができます。
過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、『(右／左方向) すぐ先 交差点監視ポイントです』とお知らせします。

〈信号無視抑止システム〉

「信号無視抑止システム警告」のON/OFFができます。
信号無視抑止システムの約300m手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 信号無視抑止システムです』とお知らせします。

〈高速交通警察隊〉

「高速道 交通警察隊告知」のON/OFFができます。
高速道 交通警察隊の約500m手前から通過直前に、『(右/左方向) 500m先 高速道 交通警察隊待機所です』とお知らせします。

- GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーの動作状況により、距離の告知『500m先』を『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

〈駐禁監視エリア〉

「駐車禁止監視エリア警告」のON/OFFができます。
本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、『この付近 駐禁最重点(重点)エリアです』とお知らせします。

- 駐車禁止監視エリアのアイコン(☛17ページ)は、駐禁最重点(重点)エリア内に進入した時点で表示されます。

〈一時停止注意ポイント〉

「一時停止注意ポイント表示」のON/OFFができます。
登録されている一時停止注意ポイントをアイコン表示します。

※東京都23区内／名古屋市内／大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。

〈エヌ(N)システム〉

「Nシステム告知」のON/OFFができます。
Nシステムの約300m手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 (高速道)Nシステムです』とお知らせします。

Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

〈交通監視システム〉

「交通監視システム告知」のON/OFFができます。
交通監視システムの約300m手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 交通監視システムです』とお知らせします。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実積はありません。

〈警察署〉

「警察署告知」のON/OFFができます。
警察署の約500m手前から通過直前に、『(右／左方向) 500m先 警察署です』とお知らせします。

- GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーの動作状況により、距離の告知『500m先』を『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

〈交番〉

「交番表示」のON/OFFができます。
登録されている交番ポイントをアイコン表示します。

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。
過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約300m手前になると、『(右/左方向) すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。

〈車上狙い多発エリア〉

「車上狙い多発エリア告知」のON/OFFができます。
本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、『この付近 車上狙い多発エリアです』とお知らせします。

- 車上狙い多発エリアのアイコン(☛17ページ)は、車上狙い多発エリア内に進入した時点で表示されます。

〈急カーブ〉

「高速道　急カーブ/連続カーブ告知」のON/OFFができます。
高速道路の急カーブや連続するカーブにさしかかると、『(右/ 左方向)　この先 高速道 急(連続)カーブです』とお知らせします。

〈分岐合流ポイント〉

「高速道　分岐/合流ポイント告知」のON/OFFができます。
高速道路の分岐/合流ポイントにさしかかると、『この先 高速道 分岐(合流)ポイントです』とお知らせします。

・GPSの受信状況やGセンサー/ジャイロセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

〈踏切〉

「踏切表示」のON/OFFができます。
登録されている踏切ポイントをアイコン表示します。

〈ETCレーン〉

「ETCレーン事前案内」のON/OFFができます。
ETCのある料金所にさしかかると、『ETCレーンは　○○です』とお知らせします。

・ETCレーンは、左側、右側、中央、両サイドのいずれかでお知らせします。

〈サービスエリア〉

「サービスエリア告知」のON/OFFができます。
サービスエリアの約1km手前で『(右／左方向) 1km先　高速道サービスエリアです』とお知らせします。

〈パーキングエリア〉

「パーキングエリア告知」のON/OFFができます。
パーキングエリアの約1km手前で『(右／左方向) 1km先　高速道パーキングエリアです』とお知らせします。

〈ハイウェイオアシス〉

「ハイウェイオアシス告知」のON/OFFができます。
ハイウェイオアシスの約1km手前で『(右／左方向) 1km先　高速道ハイウェイオアシスです』とお知らせします。

〈スマートIC(スマートインターチェンジ)〉

「スマートIC告知」のON/OFFができます。
サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシス内にあるスマートインターチェンジをお知らせします。
パーキングエリア、サービスエリア、ハイウェイオアシスの告知後、スマートインターチェンジがある場合は、『1km先 高速道　…スマートインターチェンジです』とお知らせします。

・サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスの設定がOFFの場合は、スマートIC告知を行いません。

〈ガソリンスタンド〉

「サービスエリア/パーキングエリア内 ガスステーション告知」のON/OFFができます。
パーキングエリアやサービスエリアの告知後、ガスステーションがある場合は、『1km先 高速道 …ガスステーションがあります』とお知らせします。

・ガスステーションのブランド名が登録されている場合は、ガスステーションのブランド名を告知します。
『ガスステーションは○○です』
・サービスエリアとパーキングエリアの設定がOFFの場合は、ガスステーション告知を行いません。

〈トンネル〉

「高速道　長い/連続トンネル告知」のON/OFFができます。
高速道路の長いトンネルや連続するトンネルの約1km(500m)手前で、『(右／左方向)　1km(500m)先　高速道　長い(連続)トンネルです』とお知らせします。

〈ハイウェイラジオ〉

「ハイウェイラジオ受信エリア告知」のON/OFFができます。
ハイウェイラジオ受信エリアにさしかかると、『高速道ハイウェイラジオ受信エリアです』とお知らせします。

〈県境〉

「県境告知」のON/OFFができます。
高速道路と主要一般道路の県境にさしかかると、『この先　○○県です』とお知らせします。

・すべての道路の県境が登録されている訳ではありませんので、あらかじめご了承ください。

〈道の駅〉

「道の駅告知」のON/OFFができます。
道の駅の約1km(500m)手前で、『(右／左方向) 1km(500m)先　道の駅です』とお知らせします。

〈ビューポイントパーキング〉

「ビューポイントパーキング告知」のON/OFFができます。
ビューポイントパーキングの約1km(500m)手前で、『(右／左方向)　1km(500m)先　ビューポイントパーキングです』とお知らせします。

〈駐車場〉

「駐禁エリア付近駐車場表示」のON/OFFができます。
駐禁エリア付近に登録されている駐車場ポイントをアイコン表示します。

〈消防署〉

「消防署表示」のON/OFFができます。
登録されている消防署のポイントをアイコン表示します。

〈公衆トイレ〉

「公衆トイレ表示」のON/OFFができます。
登録されている公衆トイレのポイントをアイコン表示します。

使いかた／設定編

無線の設定

つづく

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。

- 「お好みモード選択機能の設定」(☛49ページ)でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。
- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛39ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定項目の詳細説明

〈受信感度〉

無線受信感度を「HI（高）」「LO（低）」の2段階で切替えることができます。

〈カーロケ無線〉

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局（パトカー等）の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

- カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

〈取締無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。

- 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

〈デジタル無線〉

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

〈取締特小無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、取締無線（350.1MHz）の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。

- 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

〈署活系無線〉

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

〈警察電話〉

移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

〈警察活動無線〉

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

〈レッカー無線〉

主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。あらかじめご了承ください。

〈ヘリテレ無線〉

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

〈消防ヘリテレ無線〉

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

〈消防無線〉

災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用400MHz帯）です。

- 消防本部等で広域に使用されているVHF帯（150MHz帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。

〈新救急無線〉

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

〈高速道路無線〉

NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。

〈警備無線〉

主に警備会社が使用する無線です。

ity. MAPサービス

つづく

今すぐ地図表示サービス（無料）

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテイメント情報や季節情報を表示します。
また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

① レーダー探知機のファンクションボタンを長押し（約1秒）してQRコードを表示させる。

② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス（無料）

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテイメント情報を表示します。
また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
http://www.yupiteru-itymap.com/

② レーダー探知機のファンクションボタンを長押し（約1秒）して緯度（N）・経度（E）を表示させる。

③ 携帯電話に緯度（N）・経度（E）を入力する。

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

●PC専用サイト
http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

詳しくは、弊社ホームページ「ity. MAPサービス」（http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html）をご覧ください。

※ 今すぐ地図表示サービス、地図閲覧サービスで使用している地図の著作権は、株式会社昭文社に帰属されます。
地図データの編集・加工による二次使用は、禁じております。

ログ機能［特許出願中］

ログ機能をONに設定すると、走行データ（最大約12時間分）をレーダー探知機に記録します。記録したデータは、付属（レーダー探知機に装着済み）のmicroSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。
※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS
  - ・Microsoft Windows 7（32bit版/64bit版）
  - ・Microsoft Windows Vista（32bit版/64bit版）
  - ・Microsoft Windows XP（32bit版）※
  - ・Microsoft Windows 2000

  ※64bit版は、未対応となります。
- .NET Framework2.0以上がインストールされていること。.NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

● ご用意いただくもの。

- 市販のSDカードまたはmicroSDカードリーダーライター（1GB対応のもの）
- SDカードリーダーライターやパソコンのSDカードスロットを使用する場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ（http://www.yupiteru.co.jp）をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト（YP_LogDataConvert.exe）をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(☛42ページ)すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、待受画面のアイコン表示部にパーセント表示されます。

  50％ 60km/h

- 記録容量が100％になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100％の表示を残します。
- 記録容量が100％になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- 記録容量が100％になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(☛44ページ)を行うまで、100％の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(☛44ページ)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でmicroSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをmicroSDカードにコピーする

レーダー探知機の表示部を見ながらリモコンのボタン操作を行ってください。

① モードボタンを押し、「設定モード」にする。

②「システム設定」の項目を⊕⊖ボタンで選択し、モードボタンを押す。

③「ログ出力」の項目を⊕⊖ボタンで選択し、モードボタンを押す。

④「スタート」の項目を⊕⊖ボタンで選択し、モードボタンを押す。

<コピー中の画面>

- microSDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、設定メニューより、ログデータの消去（全消去）を行ってください。(☛44ページ)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

① 走行データをコピーしたmicroSDカードをパソコンに接続する。

② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、microSDカードの走行データ(＊.Log)を選択する。

③「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

- 走行軌跡の確認後は、microSDカードをレーダー探知機に装着してご使用ください。(☛13ページ)
- 必要に応じ、microSDカード内にコピーした走行データ(＊.Log)を削除する場合は、GPS更新データ(pictureのフォルダ等)を削除しないようにご注意ください。

GPSターゲットデータ更新サービス

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機の GPS ターゲットデータの更新を行っていただけます。
※地図データの更新はできません。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。
http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity.クラブホームページアドレス
http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html

電話でのお問い合わせは下記フリーコールにお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口
受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）
フリーコール 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。(☛73ページ)

取締りのミニ知識

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。

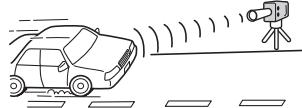
2. 距離と時間で算出する方法（光電管・ループコイル式オービス）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。
測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

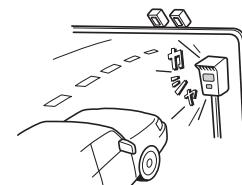
- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。
取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機（新Hシステム、レーダー式オービス）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

●対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

●前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕

〔下り坂〕

〔コーナー〕

故障かな？と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	• 電源スイッチがONになっていますか。(☛8ページ) • シガープラグコードがはずれていませんか。 • シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。2、3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 • シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量（1A）の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションをOFFにしても電源が切れない	• シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を切ってください。 • シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動して入/切される車でも、OBD II アダプター取り付け時はイグニッションのOFFから本機の電源が切れるまでに数秒から数十秒かかります。本機の電源をすぐに切りたい場合は、本機の電源スイッチで電源を切ってください。
実写警報、ロードイメージ、音声警告が出ない	• 付属のmicroSDカードを装着していますか。または、抜けかけていませんか。(☛13ページ)

症　状	チェック項目
レーダー警報しない	• 電源が入っていましたか。(☛15ページ) • 警報機能が正しくはたらきますか。テスト＆ミュートボタンを押して確認してください。(☛9ページ) • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 • マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。(☛35ページ) • インテリジェントキャンセルされていませんか。(☛53ページ) • 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(☛46ページ) • 「マナーモード」になっていませんか。Ⓐアップボタンを押して解除してください。
GPS警報しない	• GPS測位していましたか。(☛28ページ) • 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	• 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)
一般道を走行中に高速道のターゲットをGPS警報する	• 「道路選択」の設定(☛48ページ)を「オール」でご使用の際は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。
ひんぱんに無線警報する	• 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。 また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	• 「取締無線」を「ON」に設定していましたか。(☛63ページ) • 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

症　状	チェック項目
誤警報がキャンセルされない	• 「アイ(Ｉ)キャンセル」(インテリジェントキャンセル)の設定は「ON」になっていましたか。(☛53ページ) • スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは、「インテリジェントキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。(☛49ページ)) • GPS測位していましたか。(☛28ページ) • 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 • 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
何も表示しない	• 「マナーモード」になっていませんか。Ⓐアップボタンを押して解除してください。 • 「待受画面」の設定が「OFF」ではありませんか。ファンクションボタンを押して待受画面を変更してください。
画面に％(パーセント)表示される	• ログ機能をONにすると、走行データの記録状態をパーセント表示(0%～100%)します。(☛18ページ)、(☛66ページ)
リモコンで操作できない	• リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。(☛14ページ) • リモコンの赤外線が遮られていませんか。 • 本機の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなることがあります。
速度表示が車両の速度計と異なる	• 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
OBD Ⅱ接続時に、表示される待受画面の項目の一部が、表示されない	• 車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)
OBD Ⅱ接続時に、スロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない	•車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。
OBD Ⅱ接続時に、待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる	• 車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。
OBD Ⅱ接続時に、突然本機の電源がOFFになった	• OBD Ⅱ接続時、OBD Ⅱアダプターにあるディップスイッチの設定が間違っていると、突然電源がOFFになります。ディップスイッチの設定については、OBD Ⅱアダプターの取扱説明書をご読みください。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧　：DC 12 V（マイナスアース車専用）
消費電流　：待機時：160mA 以下（無線 OFF 時）
　　　　　　最大：200mA 以下
受信方式　：［GPS 部］
　　　　　　16チャンネル/パラレル受信方式
　　　　　　［レーダー部］
　　　　　　スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
表示部　　：フルカラー液晶ディスプレイ
受信周波数：［GPS 部］1.6GHz 帯
　　　　　　［レーダー部］X バンド/K バンド
　　　　　　［UHF 部］336～470MHz 帯
　　　　　　［VHF 部］154～163MHz 帯

動作温度範囲：－20℃～＋85℃
　　　　　　（GPS 部：－20℃～＋80℃）
　　　　　　（UHF/VHF 部：－10℃～＋60℃）
外形寸法　：［本機］
　　　　　　95（W）×54（H）×18（D）mm
　　　　　　［リモコン］
　　　　　　35（W）×56（H）×6（D）mm
　　　　　　（突起部除く）
重量　　　：［本機］100g（microSDカード含む）
　　　　　　［リモコン］11g（電池含む）

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
　なお、本文中では TM や ® などの記号を記載しない場合があります。

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間
お買い上げの日から1年間です。

●対象部分
機器本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

● 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
● 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
● 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　 0120-998-036